



田原市地域コミュニティ連合会

会報第20号
2021. 1. 15

- 「田原市地域コミュニティ連合会」は、地域コミュニティによる“自主的なまちづくり”を目指すため、それまでの総代会に代わって、平成23年度に発足しました。
- 連合会では、地域コミュニティ活性化のための調査・研究、定例理事会などでの意見交換、交流スポーツ大会、市への要望活動などを行っています。

◆令和2年度 連合会活動方針

目標とする地域社会	“誰もが暮らしやすい社会”
活動目標	みんなが参加し、互いに尊重・助け合う地域づくり
推進項目	①コミュニティ活動の目的・目標をみんなで共有しましょう。 ②一人ひとりが出来ることから取り組む全員参加のまちづくりを進めましょう。 ③情報交換や交流イベント等により、連帯意識を高め、人づくりを進めましょう。

■連合会研修会の開催

令和2年11月6日（金）／赤羽根文化会館 文化ホール

地域づくりの取り組みを行う上での実践的なノウハウ・スキルを学ぶ機会として研修会を開催しました。今回は岐阜大学流域圏科学研究センターの小山真紀准教授に講師を依頼し、感染症対策を踏まえた避難の在り方と避難生活について、コロナ禍での避難行動や避難所における感染症対策などについてお話をいただきました。

研修会の実施にあたり、感染症対策として、研修会の参加者にはマスク着用、会場入り口での手指消毒と体温計測にご協力いただきました。また、会場内では隣の座席は空けて着席していただき、入り口は開放したままにして換気を行いました。

各コミュニティ協議会から参加希望者を募り、当日は理事を始め自治会長や地域のまちづくりに関わる方など合計126名の方にご参加いただきました。

いざというときに効果的な避難所運営ができるように参加されたみなさんは、避難所における感染症対策やコロナ禍での避難はどうしたらよいかと熱心に耳を傾けていました。



講話内容

- 災害種別別の避難行動
- コロナ禍の避難生活
- 対策をすすめる地域の工夫や取り組み
- 地区防災計画の取り組み

■地域活動支援要望書の提出

令和2年9月30日（水）／田原市役所 応接室

田 原市市民協働まちづくり条例で、まちづくりの基礎的団体として位置付けられている地域コミュニティ団体への支援を求める**地域活動支援要望書**を、山下政良市長へ提出しました。

内容は、道路及び河川の補修等への対応、市民館施設の補修等への対応を特別要望事項とし、この他はこれまで実施されている活動支援、施設整備支援の内容を引き継ぐとともに、更なる支援内容の充実を検討していただくものとしています。

当日は、市長のほか、副市長、総務部長が同席のもと、財源、組織及び事業推進等について意見交換を行いました。

意見交換の内容（一部抜粋）

- 地域の安心・安全に関わる道路・河川、地域の活動拠点となる市民館の補修等の対応をお願いしたい。
- 地域の活動に参加してくれる人材を育てていくことは大切なこと。災害時は地域が団結しなければいけない。



自治会加入・地域活動への参加のお願い

自治会では、親睦交流活動、防災活動、交通安全・防犯活動、清掃活動など皆さんが住みやすくなるよういろいろな活動をしています。そこに住む一人ひとりの力が必要ですでの、自治会加入・活動参加をお願いします。



連合会ホームページをご覧ください

田原市地域コミュニティ連合会では、活動内容や各協議会のイベントなどの情報をホームページでお知らせしています。ぜひご覧ください。

田原市地域コミュニティ連合会

検索

編集：田原市地域コミュニティ連合会事務局
(田原市役所 総務課)

電話 0531-23-3504
メール tahara-komiren@city.tahara.aichi.jp
ホームページ <http://tahara-komiren.com/>